

一市民の年表作成

◆私の注目点

今回の Lib 活講座に一市民として参加した。提出した年表は反省点(生活者目線から年表作成を行う意図が実現できていない)が多く目立ち、中途半端な結果に残り残念である。

私の人生と重なる担当年 1993～96 年を改めて振り返る今回の年表作成は様々な想念が次々に浮かび、立ち止まり、寄り道を重ねた作業時間だった。注目点は余りにも多い。55 年体制の崩壊、猛暑・渇水、三内丸山遺跡、松本サリン事件、阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件、アメリカ軍海兵隊員による女子小学生の拉致・暴行事件、マイクロソフト「ウィンドウズ 95」日本発売、等々がある。私は「年表」の個別史資料検討を途中から諦めた。その中で思い浮かべ、支えてくれた魯迅の言葉に「ともに人類、お互いに理解し合えないはずはない。だが時代や国土、慣習や先入観が人の心を蔽いす」がある。私は残された短い人生を今回の貴重な機会と経験を生かし、のんびり過ごしたいものだと、心から念じている。

◆こんな事がありました

沖縄県と神奈川県に共通する在日アメリカ軍基地の問題。

阪神淡路大震災と神奈川県民のボランティア活動。災害なのか人災なのか。

横浜事件と家永教科書訴訟(私が選んだ一生の仕事・職業に関する)。

◆年表作成を通して考えたこと・感じたこと

- ・ 私たちは 1990 年代の課題をまだ解決できずに、現在も引きずっていることを痛感した。
- ・ 旧『神奈川県史』刊行から 40 年以上が経過した。編纂可能な新『神奈川県史』の構想に着手する時期だと考える。その後の歴史的な発見、歴史研究の成果を反映した編纂事業。
- ・ 神奈川県立図書館に地域文化形成のキーステーションの役割と事業を期待する。
- ・ 今回は作業時間を充分に取れず苦勞した。しかし携わっていた時間は楽しく過ごせた。

【キーワード】

- 県民・歴史・編む
- 研究・実習・作成
- 新聞・人間・歴史
- アメリカ軍基地
- 災害・人災・病気
- 人間と動物
- スポーツと宗教
- 度重なる選挙
- 55 年体制の崩壊
- 文化・継承・希望

【こんな資料を参考にしました】

- 岩波書店編集部編『近代日本総合年表 第4版』岩波書店 2011.11
- 神奈川新聞・コピー(県立図書館の配布資料)
- インターネット：ジャパンナレッジ。国会図書館。

*今回は作業時間が少なく、当該の参考資料を徹底的に絞り込み、作成しました。